

# やる気・元気・信州に好機 寺沢こうき 県政報告



## 《「みらい」結成、そして統一会派結成へ》

4月13日、投票票翌日より、所属会派をどうするかと言う点に、非常に悩む事となりました。様々な先輩議員の方々より、お誘いを頂きましたが、大きな組織も持たず、また特定の国政政党によらず、あらゆる皆様からご支援を頂き、思いを訴えてきましたので、その主張を曲げずに会派を決めたいと考えておりました。そんな中、同じく選挙戦でどこからも推薦・公認を受けず無所属を訴えていました、諏訪市区選出の今井愛郎議員よりお話を頂きました。歳も近く同じくPTA会長経験者、子育て中と言うこともあり、何度かお話をする中で、子育てや教育を訴えるの中心にしてきた私と主張が近いという感触を得たので、「2人、同一歩調で行きましょう！」という事になり、4月20日、2人で、会派「みらい」を結成し、議会議務局に届出すると共に、「新人議員2人での議会活動は難しい」という共通認識の下、統一会派先を模索することにしました。その後会派「信州・新風」と統一会派交渉を行い、「政党の意向に縛られないこと、子育て・教育を中心に取組みたいこと、みらいの名前を残すこと」などで合意が出来たので、4月27日、「信州・新風・みらい」として統一会派を結成しました。新人2人の声に耳を傾け

て下さった「信州・新風」の方々に感謝すると共に、第2会派となった「信州・新風・みらい」の一員として、しっかり活動を行って参ります。



## 《6月定例会》

6月25日から7月10日まで行われました長野県議会6月定例会にて、初めての一般質問に立ち、県立こども病院について取り上げました。

**問** 現在収容台数610台の駐車場を、340台分を患者さん、270台分を病院関係者の割合で使用され大変不足しております。駐車場増設に対する考え、さらには予算を含め、県としてどのような関与ができるか。

**【健康福祉部長】** 駐車場は順次増やしてきており、この6月にも14台分増設し現在患者用・職員用計624台分を確保してございます。近隣に職員用駐車場を探していると聞いております。まず県立病院機構にて敷地の有効利用や駐車場のあり方等検討して頂いた上で、情報共有し共に考えてま

いりたいと思っております。増設する場合敷地外の建設が現実的と思われる。周辺は田園地帯で街灯も無く、夜勤交代のある女性看護師のことを考えると、病院の隣接地に駐車場を確保したい。しかし農業振興地域のため開発を行うには非常にハードルが高いと聞く。全ての法を踏まえ、現時点で隣接地を駐車場として開発する方法はないか。

**【農政部長】** こども病院周辺農地は集団的な優良農地であり、現在のところは、農振除外は難しいと認識しております。なお、土地収用法で定める事業認定を受けた場合には、農振農用地であっても農振除外が不要となり、農地転用が可能となる場合がございます。



**問** 病院敷地内に入院患者の家族のための滞在施設があります。施設規模は5室のみと少なく、利用できないご家族は、民間宿泊施設を利用されるか、短期でアパートを借りられているそうです。この施設、また施設規模

に対してどうお考えか。また市内の県営住宅の空き部屋の有効活用、民間のアパート、一戸建ての空き家を借上げ、空き家対策として利用できないか。独立行政法人ではあるが、県としてどの程度関与できるか合わせてお答えをお聞かせ下さい。

**【健康福祉部長】** 病院の長期入院患者の家族の皆様の為の滞在施設は、県立病院機構が運営主体となつて施設管理をNPO法人に委託しております。ご指摘の通り利用希望者が重なる場合には、近隣のホテル等を紹介していると聞いております。また、ご指摘の方法も考えられると言いますが、先ずは病院機構で検討していただき、その上で県としても共に考えて対応をして参ります。

**問** 院内のWiFi環境の整備、駐車場不足、家族滞在施設など様々な課題がある。県立こども病院のこれまでの取組の評価、また今後の期待、更にはその実現に向けて県としてどのような協力体制で臨まれるかをお伺いする。

**【知事】** ご指摘の通り、患者の立場に立ってしっかりと病院のあり方を考えていくことは大変重要だと思えます。ただ、県立病院機構という地方独立行政法人であり、県の直営事業では無いという事をご理解頂きたいと思えます。高度小児医療、救命救急医療を提供する県内唯一の小児専門

国に対して「将来の地域医療の安定を求める意見書」案（1. 地方創生の取組みの中で、地方自治体が独自に進める子供等に係る医療費助成と、国民健康保険の国庫負担金減額措置のあり方について緊急に検討を行うこと。2. 国民健康保険改革の推進に当たっては、地方創生、子育て支援、少子高齢化、地域包括ケア等の幅広い視点から総合的な検討を行い、地方との十分な協議を踏まえた上で、実効性のある施策を実施していくこと。）が提出されました。これに対して、一年生議員としては異例ではありますが、賛成討論をさせて頂きました。子育て中の立場より、経験を交え、子どもの医療費窓口無料化を含め、子ども達の笑顔のため、更なる国保制度の充実と、地域医療の安定への願いを述べました。採決の結果、全会一致で可決されました。

## 《意見書に対し賛成討論》

7月13日、14日に会派で松本・安曇野を視察いたしました。安曇野市は、市役所とこども病院に訪問し、市役所では、市長をはじめ、各部署より「安曇野市制に関する要望書」を受け取りました。

## 《安曇野市役所視察》

病院であるという観点で、医療機能の充実にこれまでも取り組んで来て頂いており、今後の向上に貢献して頂く事を強く期待しているところであり、県として県立病院機構に対する運営負担金を、今年度3.1億円増額している所であり、今後も必要な支援を行っていきたくと考えています。



## 主な活動

- 5/11～5/15 臨時議会
- 5/23 千曲川・犀川総合水防演習
- 6/1 危機管理建設委員会
- 6/8 安曇野建設事務所管内事業現地視察
- 6/15 新人議員による諏訪地域現地視察
- 6/20 障害者スポーツ大会
- 6/25～7/10 6月定例議会
- 7/21 22 危機管理建設委員会視察（小諸・佐久地域）
- 7/26 長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会
- 8/18 19 決算特別委員会現地調査（長野・大町）
- 8/20 全国都道府県議会新人議員研修会
- 8/24 25 危機管理建設委員会視察（木曾地域）
- 8/28 名水サミットin安曇野
- その他各種総会、会議、大会出席